

平成19年度決算審査

「し尿券疑惑の解決と

滞納改善を目指して」

平成20年9月の第23回宍粟市議会定例会に上程された全12会計の平成19年度決算認定について、議長より11名の議員が指名を受け、決算特別委員が選出されました。以下、審査の概要、集中した意見等を報告します。

決算特別委員会

- ・委員長 山根 昇
- ・副委員長 秋田 裕三
- ・委員 西川 省二
- ・ 小林 健志
- ・ 藤原 憲男
- ・ 岡田 初雄
- ・ 伊藤 一郎
- ・ 内海 利為
- ・ 小林 慎一
- ・ 岩路 昭美
- ・ 大倉 澄子

審査日程

10月15日(水)

総務部・選挙管理委員会

10月17日(金)

消防本部・水道局・総合病院

10月20日(月) 福祉部

10月21日(火)

企画部・会計課・議会事務局

10月22日(水)

土木部・産業部・農業委員会

10月24日(金) 教育委員会

11月7日(金) 福祉部

11月20日(木) 福祉部

11月28日(金) 福祉部

審査内容の主なもの

一般会計:

歳入227億2524万32

75円、歳出222億7342

万9643円、収納率が0%低下しており、かつてない不能欠損処理をしているが、担税力のある人に対する差し押さえの実行等、不公平感が生じないよう徴収に努め、公平の原則を守るべきであるとの多くの意見が出された。

企画部 指定管理制度の充実、音水湖整備の早急な取組み、限界集落への適切・効率的な補助の要請、全市的公共交通の安定化等。

総務部 税の滞納額・不能欠損額の増加、消費者金融のグレゾーンへの対応などに意見集中。

福祉部 し尿券問題の早期解決を求める声が多く出されたが、決算委員提出の収納伝票(19年度分)にも一部不備があることが判明。

産業部 農地保全や林業の担い手不足解消問題が大きく取り

上げられたが、特産物振興助成については、市外へアピールし模索中との説明。



本議会風景